

# 令和4年度 にしふじのみや幼稚園学校評価

自己評価実施日 令和5年1月13日

学校評価委員評価実施日 令和5年2月10日

学校法人土橋学園 にしふじのみや幼稚園園長 矢部理恵子

学校法人土橋学園 にしふじのみや幼稚園学校関係者評価委員委員長 佐野多知子

## 1 幼稚園の教育目標

「ひとり立ちする子」をめざして 「一人一人が輝く子ども」

1 思いやる心 2 丈夫な体 3 考える力

## 2 重点目標

- ・幼稚園ならではの体験・たくさんのお友達や先生と関わる事によって自立のための基礎を育てます。
- ・「生きる力」「愛」を掲げ、社会性のある子を目指します。
- ・「知育」「徳育」「体育」をバランスよく組み合わせた教育を行っていきます。
- ・研修主題\*ボディパーカッション・音楽活動・体操遊びを通して表現活動を楽しむ\*

## 3 評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

- ※結果の表示方法
- A 十分に成果があった
  - B 成果があった
  - C 少し成果があった
  - D 成果がなかった

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	反省と改善点	評価点	意見
1	保育の計画性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだコロナ禍での生活が続いているが、職員間でも例年の反省等をもとに話し合いより良い行事や教育など工夫した保育ができたと思う。</li> <li>・マンネリ化してしまわないよう、常に自分の保育を振り返り新しい事にどんどん挑戦していきたい。</li> <li>・全職員で話し合い、子どもを全職員で見守る体制を作るよう意識してきたと思う。</li> <li>・細かな指導計画を立てることを意識し、日々の反省を生かしながらより良い保育ができるよう引き続き努めていきたいと思う。</li> <li>・コロナ禍での生活が3年目に入るが、行事ごと、最善を尽くせるよう職員間で話し合い、取り組むことができた。</li> <li>・同じような内容になってしまいがちな行事も、担当が変わることで雰囲気が変わったり、その時代に合ったものを取り入れたりしつつ、伝統を大事にしながらか年々より良いものになっていると思う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍という前提の中日常の保育や行事を、今できる最善の保育を職員間で話し合い共有して行っていたと思います。</li> <li>・大変な年が続き新たなきづなもあったかと思えます。頑張ってください。</li> </ul>
2	保育の在り方 幼児の対応	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々、悩むことは多いが、子どもたち一人ひとりに合った対応や言葉がけを意識していった。</li> <li>・パートの先生が増え、細かい部分まで気付いてくださったり、たくさん相談にのって頂いたりたくさん助けて頂いた。とても有難かった。私自身も学ぶ点がたくさんあった。</li> <li>・パートの先生を含め、たくさんの先生方がいろいろなことに気が付いてくれて、たくさんのアドバイスを頂けた。日々学ぶことが多く、ありがたかった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな個性のある子どもたちを、立場・学年関係なく職員全員で対応していることが見受けられます。職員同士のコミュニケーションが上手く取れているからだと感じました。</li> <li>・教諭経験のある先生からのアドバイスはとても大切なことだと思えます。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なお小さんがおり、対応の仕方も日々工夫しながらできたと思う。学年関係なく、いろんな先生がみてくれるので、相談したり、助言ももらえとても勉強になった。</li> <li>・全国の、保育園や幼稚園で様々な事故が起きるたび、園児の安全面などの確認、再認識をすることができた。</li> <li>・日々の職員間の何気ない会話の中から園全体の子どもの様子を把握ができ、どの職員も対応ができるようになってきていると思う。指導が大変な子どもに関しても、色々な先生が対応できるのはとても良いと思う。</li> </ul>		
3	教師としての 資質・能力 良識・適正	A <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人を見つめ、それぞれの課題や個々への対応について考え、関わってきたが、もっとできたことがあったのではないかと思います。</li> <li>・よりよい保育が出来るよう、先輩の先生方を見て学び、自分の中に取り入れていきたい。</li> <li>・私自身の妊娠や娘や家族の体調の件で、先生方にたくさん助けていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。自分のできることは精一杯やっていきたい。</li> <li>・子どもの様子や出来事、困っていることなどを積極的に他の先生方に発信し、相談していくよう心がけていきたい。</li> <li>・まだまだコロナ禍であるため、園児の健康チェックにはどの教師も注意を払っていた。発達の気になる子に関してはクラスの枠を超えてどの先生も性格にあった対応ができていたと思う。</li> <li>・個性溢れる子どもたちと過ごす毎日が本当に楽しく、子どもたちの成長を身近で感じることを幸せに思う。様々な場面で周りの先生方に助けをもらい、感謝でいっぱいです。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い保育を行うために職員同士でフォローしあっている関係性が見受けられます。職員全員で子供たちのために保育について考えているのがわかります。</li> </ul>
4	保護者への対応	A <ul style="list-style-type: none"> <li>その日にあった出来事は、その日のうちに保護者に伝えるよう、心掛けている。</li> <li>・子供の様子や成長を担当の先生と話し合い、保護者の方に伝えていった。相手が理解できるように、工夫しながらも保護者とのコミュニケーションを大切にしていく。</li> <li>・保護者にどう話せばわかりやすく伝えられるかを考え、他の先生方の会話の仕方をまねしながら保護者とうまくコミュニケーションがとれるようにしていく。</li> <li>・様々な家庭がある中、いろいろな対応方法を考え、連絡をとったり、連携をとることができた。外国籍の方も増えているなか、いろんな方に援助してもらったり、ネット機能を上手に使い、連携が取れていたと思う。</li> <li>・お家の方とのやりとりで難しさを感じることもあるが、その度にお家の方が子どもを思う気持ちの大きさを感じ、大切なお子さまをお預かりしていることを実感。子どもたちの姿を共有しながら、家庭と協力して、子どもたちの成長のために頑張っていきたい。</li> <li>・保護者の小さな不安がトラブルにつながるという話を聞いたので、些細な出来事もできるだけ保護者に話をするようにした。小さな成長も保護者と分かち合えるのはとても良いと思う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方はどんなことでも伝えていただけると嬉しいし安心した気持ちになると思うので、今まで同様積極的にコミュニケーションを取ってほしいです。</li> <li>・幼稚園での子供の様子を些細なことでも伝えてくれるのは親としても有難いことだと思います。</li> <li>・外国籍のお子さんや保護者はいろいろな不安なこともあると思うので先生方が連携を取りながら対応していることは良いことだと思います。</li> <li>・親御さんとのコミュニケーションもいろいろと試行錯誤しながら子供たちのことをしっかり伝えようという思いが伝わります。</li> <li>・その日の出来事を先生も嬉しそうに楽しく報告している場面を見かけます。親御さんにもこやかです。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事前の近隣挨拶の際、近所の方々が幼稚園のことを理解し、協力して下さっていることを感じた。本当に有難いと思う。</li> <li>・いちご狩りの親子遠足が実施できたり、ウッドデッキを作成していただいたりと、保護者や地域の人達のご理解ご協力を多々感じた。感謝を忘れず、より一層頑張っていきたい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方からの理解や協力を得るために尽力されているのがわかります。</li> <li>・コロナ禍でも新しい行事を行うにあたって、それにかかわる地域の方たちへの対応を丁寧にされていると思います。</li> </ul>

5	地域の自然や社会との関わり	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちご狩りやジャガイモ掘りなど保護者の方や地域の方との関わりが多くあったと思う。</li> <li>・コロナ禍で今まで通りとはいかないが、逆に新しい発想や発見を生かし、園外の方とも交流ができた。</li> <li>・地域の方との挨拶は積極的にする様心掛けている。</li> <li>・たくさんの方たちが幼稚園のことをあたたかく見守ってくださり、そして助けていただいていることが嬉しい。これからも地域に愛される園でありたいと思う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果物や、野菜がどのように作られていくのかわからない子もいるので食育という面でも良いことだと思います。</li> <li>・園舎内に行事などの写真が貼ってあり、子供たちが自分が写っているといろいろな話をしてくれます。どの行事も思い出に残り良いことだと思います。</li> <li>・園児も先生方もいつも元気に挨拶をしてくれます。</li> </ul>
6	研修と研究	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知識を深めていけるよう、研修会などに参加して努力していきたい。</li> <li>・少しずつ研修に参加できる機会が増え、他の職員と共有することができ、とても良かった。自分自身の知識を深めるためにも積極的に研修等参加していきたい。</li> <li>・コロナ禍でリモート研修が多かった中でも、対面でいろいろな先生方と意見が共有できてよかった。今後も積極的に研修に参加していきたい。</li> <li>・久しぶりに県の研修会に出席することができ、他の幼稚園との意見交換ができたのはとてもよかった。コロナ禍での園ごとの対応なども勉強になった。</li> <li>・支援の必要と感じたな子が増えてきたが、自分自身の知識が足りないと感じた。支援学校や支援学級も含め、いろいろな意見を聞いたり、意見交換をしたり、実際見たりするなどしてみたい。</li> <li>・コロナ禍で中止される研修が多かったが今年から開催されるものも増え、各自が参加した研修を皆で共有することができた。最新の保育状況を知れるいい機会なので、今後も積極的に参加していきたい。</li> <li>・様々な研修に参加し、知識を深めることができた。沢山の刺激も得られ、自身の保育を見つめ直すきっかけにもなり、とても勉強になった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徐々に研修会が開催されているようで、そこで得られる情報や知識を積極的に日々の保育に反映しようとする姿勢がうかがわれます。保育をしなごらの研修会も多いと思いますが、頑張っしてほしいと思いました。</li> <li>・子どもは先生自身がどの様に生きているのか敏感です。コロナ禍で大変な時ですが生き生きと楽しくお過ごしください。</li> </ul>

#### 4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設として今やれることをいろいろ企画し行事などを通して「一人一人が輝く子ども」を目標に個性を大切にする保育を通し、自分からやろうとする子は達成できたと思う。</li> <li>・ボディーパーカッションの活動を始めてから、「体操遊び」「音楽の活動」「日常の保育」を通し、子どもたち自身、視覚・聴覚・触覚が刺激され、記憶力や考察力、想像力の向上に繋がりがあつたことを感じました。子どもたちに様々な力が身についたことで、教師や友だちと楽しい時間を共有し、発表や活動できる幅が大幅に広がり、子どもたちも今まで以上に笑顔や表情が豊かになり、達成感や満足感、充実感を味わうことができるようになったと思う。</li> <li>・保育園・認定こども園・幼稚園で様々な園児の悲しい事故が起きるたび、教職員間で何度も話し合い、危機管理マニュアルの再確認や追加を行った。園児の安全面などの確認、再認識をすることが出来た。</li> <li>・幼稚園は「初めての学校・教育をする場」であることを基本に3年目のコロナ禍でやれることを見つけたり、新しい発想を取り入れ更に資質の向上に努めてきた。子供たちのために保護者や近隣の方々とのコミュニケーションを大切にすることが出来た。</li> </ul>
---

#### 5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
地域との関わり	幼少連携・回覧板による情報公開・情報の収集・地域内の施設訪問をし交流を深める 地域行事への参加
自己啓発	指導計画の見直しと、報告・連絡・相談を密に保育の営みを連携しながら更に向上させたい
基本的な生活習慣	家庭、地域、幼少等、連携を密にして実践する

## 6 学校関係者評価委員会からのコメント

・全人教育のもとしっかりと保育して下さり感謝です。社会人になる為の第一歩の集団生活、信頼のできる仲間、挑戦する力、楽しい日々を願い良き人生へとつながることを祈っております。

・コロナ感染から3年、対応の変化など日々様々な内外の難題が山積みしていたと思います。今年度は新しい先生や若い先生も増えた中、園長先生を中心に「チームにしふじのみや」が躍動した年度だったと思います。預けている親は感謝しかありません。（いろいろな園行事を経験させてくれたこと等）

・コロナによりこの三年間でいろいろなことが様変わりした。子供たちを預かる先生方が一番苦勞をしたのではないか、行事等で小学生なら指示は通るが幼稚園児は小さいのでまとめていくことが大変だったと思います。

・コロナ禍でも子供たちが素敵に成長していると思う。逆の発想でコロナ禍だから育ったところもある。

・保育現場での事故があったが、人間は間違えることもあると思う、きっと自浄作用の中に深化と進歩を遂げられると思う。

・にしふじのみや幼稚園の先生たちの笑い声が大きい、風通しが良い。行事などで声を掛け合えない時でも意思の疎通ができています。子どもたちにも良い影響だと思ふ。

・先生たちの挨拶はとても元気です。卒園した子どもたちにも声掛けをして下さり、帰り道も一人で帰ることもあるが幼稚園の前を通るので安心です。

・小学校行事のダンス部門で4人中3人が卒園児だった。幼稚園で学んだおかげだと思ふ。感謝です。

・インスタグラムやホームページで幼稚園の様子を見せてもらっているが、若い先生方が色々見やすくしているので楽しみです。

・バスの事件などが報道されたが、悲しい事件だったと思ふ。にしふじのみや幼稚園なら絶対気付くはず、連絡もしてくれるはず。大変な時ですが頑張ってください。

・外国籍のお子さんやご家族に対してとても丁寧に対応をしている。幼稚園を頼りにしている。園を中心に地域と仲良くなれたと言う話を聞きました。

・ボディーパーカッションなど年々進化し素晴らしくなっている。練習風景を見せていただいたことがあり、出来なかった最初の状況を見ているので本番の出来栄には驚きます。子供と先生方の頑張りはずいと思ふ。

・多様性を受け入れている幼稚園。言うことは簡単だがやることは大変だと思ふ。子育て支援＝母親支援だと思ふ。参観で個性が強いお子さんも増えているのを感じた。自分の子が人と違った時の親の心配は計り知れないと思ふ。何事にも諦めないという教育をしている、にしふじのみや幼稚園の先生方はいつも力になってくださっていることは本当に有難いです。

・保育の現場で色々なニュースがあり先生方も大変なこともあると思ふますが、だからこそ自信をもって生き生きと楽しく仕事をしてほしいと思ふます。先生というお仕事は素晴らしいです。

・幼稚園は自立する社会人への第一歩、地域ともつながって頑張ってもらいたいと思ふます。

・降園時間後になると消毒もきちんとし、いつもきれいに掃除をし管理がされていると思ふ。



